



アイデアがSEXする

永田円了

Meet and Mate

アイデアのSEXとは過激なタイトルである。要は異質な考えが融合することによって、考えもしなかったような斬新なものが生まれるということである。さて、問いである。なぜこの生物界で人間だけが唯一より繁栄する生物になりえたのか？人間の本质とは何か？

この問いを過激なテーマのもと、この講座で検証してみたい。

生物はどうやって進化するのか

細菌、アメーバなどの無性生物に、2種類の突然変異体がいたら、どちらかが優勢になり他は滅びる。一方ほ乳類などの有性生物の場合、1つの個体が2種類の性質を受け継ぎ進化することができる。

このように、ほ乳類は生殖によって進化・多様化のみちを辿ってきた。ではどうして、人間だけがこの生物界を支配する存在になれたのか。

アダム・スミス曰く；犬は骨を取り引きしたりはしない、と。動物は子孫を残すための生殖はするが、アイデアのSEXはできない。人間はこのアイデアのSEX（他との取り引き）によって生物界の頂点に立つことができたのである。

イギリスの経済学者リカードは言った。石器時代にアダムは槍を4時間で、斧を3時間で作る。オズは槍を1時間で、斧を2時間で作る。もしオズが槍を2丁、アダムが斧を2丁作って交換（SEX）すれば、二人とも1時間の時間節約ができる。つまり、分業と交換によって時間のゆとりがもたらされ、人間は豊かさを手にいれたのである。



分業化（専門化）と交換（SEX）が人間にもたらしたものは

50 万年前の手斧と、現在の PC マウスを比べてみよう。手斧は 100 年間なんの進化もしなかった。一方マウスは、形、材質、機能ともに年々進化し続けている。



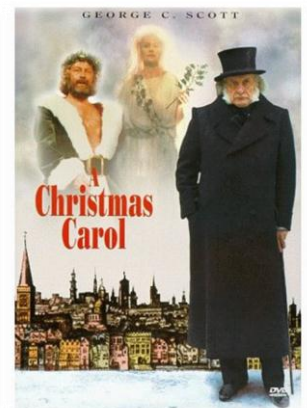
手斧は一人の人が全行程を作った。一方マウスは、何百いや何万人の手によって作られた。全てが分業・専門化され、それぞれの専門の知識はあってもマウスをつくる全行程を知る人など誰もいない。にもかかわらず、各分野のアイデアが融合（SEX）すると、思いもよらない発明がなされるのである。

人間は、このように専門化とその融合によって、個人の理解を超えた文明を手に入れたのである。

<事例 DVD>

スーパープレゼンテーション

スーパープレゼンテーション/Matt Ridley アイデアのSEX
 クローズアップ現代/伊藤穰一 MIT メデカルラボ 4 代目所長/アイデアSEXの仲人
 NHK100年インタビュー/塩野七生/なぜローマ人だけが長期にわたって繁栄したのか
 日本に一番欠けていること/ベネチアに学ぶ/専門性で生き延びる
 NHK BS「鼓童 meets 玉三郎」2004年より、玉三郎の知恵：感受・浸透・反応
 アメリカ映画 Christmas Carol 1984年、目覚める守銭奴スクルージ
 テレサ・テン 「北国の春」を中国語で歌う



円了のホームページ：www.enryo.jp